

特集 つくしのしま 筑紫洲から ～九州の児童文学

グローバルゼーションという言葉が身近になって久しくなります。新型コロナウイルス感染症の問題もあり、地球全体、すなわち「グローバル」な問題がメディアで日々取り上げられる一方で、私たちが毎日の暮らしを送っているのは、今、自分の足をつけている「土地」に他なりません。土地には、私たちの生活や文化に深く働きかけるものとしての環境、すなわち風土があり、育まれてきた歴史や気風があります。

特集では、九州という土地が生んだ文学作品と風土とのつながりや作品の味わい、原風景としての九州に焦点をあてます。

また、二〇二一年三月一三日・一四日には、福岡県大牟田市において「大牟田児童文学セミナー」が開催されます。ぜひみなさまのご参加をお待ちしております。

